

# 日本版標準 (ICS/IAP/AC)

## 健康危機管理調整システムを理解するための資料集

平成 26 年度地域保健総合推進事業  
「健康危機管理機能充実のための保健所を拠点とした連携強化事業」班

### 【資料目次】

1. はじめに
2. 法的根拠から入る危機管理調整システムの理解
3. ICS 理論から入る危機管理調整システムの理解
4. アクション・カード作成から入る危機管理調整システムの理解
5. 危機管理調整システムの理解を経て応用へ入る
6. 日本の特徴を活かした危機管理組織化

【はじめに】

大災害時はライフラインが損失する中、保健医療需要は供給を大きく上回り、業務量の爆発的増大に対して迅速な対応が求められます。一方、大災害を経験したことのない大多数の人々（保健所及び本庁、市町村、医師会等、病院とその連合体等）にとってはその時に必要な危機管理のイメージが持てるかどうか、その具体的準備に入れるかどうかの分岐点になります。次のシナリオは危機管理を組織的に行い、有事に実行できるよう準備する必要性をご理解いただくためのものです。職員と共に考えくださるようお願いいたします。

### シナリオ

あなたが保育所の所長だと仮定します。ある日、火事が発生しました。

1) ある日、5 歳児クラスが騒がしいのであなたが駆けつけると、火事発生です。クラスの担当保育士は一人で消火器を使って初期消火をすでに行きうまく消火できました。あなたは何をしますか？ 幸い子供にけがもなかったため消防署に連絡して収束ですね。このくらいで済んでよかったということで一同ほっとしました。

2) また別の日、4 歳児クラスが騒がしいのであなたが駆けつけると、今度は火事発生後、初期消火は消火器一つではうまくいかない様子です。あなたは何をしますか？ もう一つ消火器があれば消火可能か？ 天井まで火の手が届いていたらどうするか？ 4 歳児の安全は？ 火傷を負った子供もいそうです。他のクラスへの波及は？ 消防署への連絡は？ 緊急持出書類等はどうするのでしょうか？ 気ばかり焦ります。何をどの順番で行いますか？ 人員は足りませんか？ 誰を集めますか？

次に、避難後の保護者への連絡は？ 病院への付き添いは？ 親御さんの会との連絡・連携は？ メディア対応は？

3) ある日、保育所の給食室から出火し、保育所の隣にある小学校に延焼の危険が及んでいます。あなたは何をしますか？ 消防署、子供の避難、小学校への連絡？

4) 火事の発生に備えて、所長として日常から備えておくべきことは何でしょうか？ 消防隊との連携、親御さんの会との連携、近隣の施設との連携もありそうです。必ず実施すべきことは何でしょうか？ そこにいる人だけで啾嗟に必要な行動がとれるでしょうか？ 所長であるあなたが不在でもそれはできますか？

5) さて、いかがでしょうか？

長にはやるのがたくさんありますね。全部一人ではできませんね。やるべきことを整理して組織的に実行するフレームが必要だし、想定可能で実行すべきことについては、目標や具体的行動を準備しておいた方がよいことをおわかりいただけましたか？

保健所での危機管理準備はいかがでしょう？ 現行のマニュアルのみで、有事における保健所指揮調整機能の確立後、圏域内難病等要支援の住民・医療機関・市町村に対して保健所が実施すべき機能の整理、需要と供給の総和・バランス、外部への支援要求の備えは十分でしょうか？

そのために必要な資料を研究班で4つ用意しました。すべての資料にお目通しいただくのは無理でも、資料2,3（「ICS理論から入る」及び「アクション・カードから入る」）は受援側にも必要ですので、所内訓練ツールとして是非ご活用ください。また、平時から関係機関・組織とのコミュニケーションにもご活用ください。

平成 26 年度地域保健総合推進事業  
「健康危機管理機能充実のための保健所を拠点とした連携強化事業」班